

令和4年9月17日から20日にかけての台風第14号による 大雨と強風について (和歌山県の気象速報)

この資料は速報として取り急ぎまとめたものです。そのため、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

概要

9月14日、日本の南で発生した台風第14号は、18日19時頃に鹿児島県鹿児島市に上陸し、19日にかけて九州地方を北上した後、20日にかけて日本海、東北地方を東北東進し、20日09時に日本の東で温帯低気圧となった。台風に向かう暖かく湿った空気の影響で、紀伊半島の南東斜面で断続的に雨が続き、大雨となった。和歌山県では17日から雨が降り始め、降り始めの17日00時から20日06時までの総降水量は、田辺市本宮で333.0ミリを観測した(参考:9月の月降水量の平年値は、田辺市本宮:440.1ミリ)。この台風による最大瞬間風速は、和歌山市で19日14時21分に南南東の風33.3メートル、友ヶ島では19日15時06分に南南東の風40.9メートルを観測した。

和歌山地方気象台は県内全域を対象とする波浪警報を17日21時06分に、暴風警報を19日04時02分に発表した。

なお、この台風の影響で、強風に煽られて転倒した重傷者3名、軽傷者2名(和歌山市)の被害があったほか、県内では停電が約400軒(有田市)発生、JR、南海電鉄の一部区間で運転取りやめ、最終列車繰り上げ、南海フェリーでは欠航等があった。

【被害状況:20日10時30分現在、和歌山県調べ】

